

令和7年7月2日

報道関係者各位

山県市

こどもデータ連携実証事業

成果報告会

7月9日(水) 13時30分～ 市役所大会議室

山県市（市長 林 宏優 以下 当市）は、こどもの多面的な実態を捉えるための手助けとしてこども家庭庁から支援を得た「こどもデータ連携実証事業」の成果と課題を公表します。

当市の小・中学校は、児童生徒数の減少の中でも学校統合をせず、きめ細かく指導ができる小規模校の良さと、集団で切磋琢磨できる大規模校の良さの両面を実現させる「山県学園構想」を掲げています。こども一人一人の姿を捉えたり、SOSの早期発見につなげたりするため、令和5・6年度に市教育委員会や福祉部局などのデータを連携するとともに、岐阜大学や中部事務機株式会社、株式会社文溪堂と「生徒指導に関する学校課題アセスメント」「出欠席情報」「健診履歴」を共同開発して、実証事業を進めてきました。その成果と課題をそれぞれの立場から公表します。

場 所	山県市役所 3階大会議室（山県市高木1000番地1）
日 時	令和7年7月9日（水）13時30分～16時
主な参加者	早川 三根夫（「誰一人取り残さない」検討コンソーシアム 代表） 大村 統子（山県市こどもサポートセンター 所長） 吉澤 寛之（岐阜大学 大学院教育学研究科 教授） 乾 美恵子（U. I 総合法律事務所 弁護士） 服部 和也（山県市教育委員会 教育長） 國枝 秀和（中部事務機株式会社 営業戦略室 室長）
活動内容	市長挨拶、成果報告、シンポジウム、こども家庭庁総評

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ】

山県市教育委員会 学校教育課

Tel : 0581-22-6844 Fax : 0581-6851

Mail : k-gako@yamagata-gifu.ed.jp